

高 NHK杯全国高校放送コンテスト 準優勝！

私たち放送部は、第73回全国高校放送コンテスト全国大会に出場し、「オルガンが呼び起こす記憶」という作品でラジオドキュメント部門において準優勝しました。小学5年生の時に長崎で被爆された、本校5回生の三瀬清一郎さんにお話を伺い、原爆投下直前に三瀬少年がB-29のエンジン音を真似て弾いていたという足踏みオルガンの音を再現していただきました。貴重な経験をくださった三瀬さんをはじめ、この作品を支えてくださった方々に感謝いたします。この作品を通して三瀬さんの平和への願いがみなさんに届くことを心から願っています。



高 寄付講座

7月16日（木）、本校54回生の増山将洋様をお迎えし、寄付講座を実施しました。増山様は三菱UFJ銀行に入行後、香港での勤務を経て、現在はニューヨーク支店でご活躍されています。講座では、三菱UFJ銀行（MUFG）の事業や国際的な業務についてご紹介いただいた後、生徒たちとの活発な質疑応答が行われました。その中で増山様は、「海外で活躍するためには、日本や地元長崎の歴史・文化への理解を深めることが大切であり、常に成長と挑戦を続ける姿勢が重要である」と語られました。参加した生徒からは、「グローバルリーダーに必要な資質について学ぶことができ、自分の将来を前向きに考えるきっかけになった」といった感想が聞かれました。今回の講座は、生徒たちにとって国際社会で活躍するために必要な視点や姿勢について考える貴重な機会となりました。



ミニオープンスクール

7月22日（水）～24日（金）の3日間、中学校ミニオープンスクールを開催し、多くの小学生と保護者の皆様にご参加いただきました。生徒会による学校説明では、本校の教育方針や特色ある取組について紹介し、在校生との交流では、学校生活や行事、部活動について生徒自身が笑顔で紹介し、来校された皆様からの質問にも丁寧に答える姿が見られました。小学生の皆さんも次第に緊張がほぐれ、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。今回のミニオープンスクールが、本校への理解を深め、進路選択の一助となれば幸いです。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

夏季学習会・選択制講座

今年度も高校生を対象に、7月28日（火）から夏季学習会と選択制講座を実施しました。高校1年生は夏季学習会を実施し、1日あたり200名を超える生徒が自主的に学習に励みました。高校2年生は学習会に加え、7月30日（木）・31日（金）に選択制講座を実施し、自学でわからない部分を講座で確認しながら学習を進めました。高校3年生は、三者面談を経た上で、志望校合格に向けた学習計画に従って学習や講座に取り組みました。途中で全統共通テスト模試や大学別模試、九州大学志望者集会なども実施し、多くの生徒が受験生として学びへの姿勢が変わりました。この夏の取り組みが、2学期以降の学びに繋がると信じています。



現役東大生による東大説明会

8月4日（火）の14:00～16:00に、東京大学ジェンダー・エクイティ推進オフィスによる、「現役東大生による東大説明会」を実施しました。昨年度に続き2回目の実施となりましたが、今年度は工学部機械情報工学科3年の宮宇地彬さんと文科一類2年の菱川心愛さんに来校いただき、東京大学での学びや、東京大学合格に向けた学習アドバイスなどについてお話しいただきました。中高10名の参加者は熱心にメモをとりながら説明を聴き、たくさんの質問や相談をしていました。お二人とも地方出身で、学校の勉強を中心に合格を勝ち取ったと話されており、生徒たちは勇気をもらえた様子でした。説明会に参加したことで、東京大学がより身近で、目指すべき目標となったことを願っています。



平和を考える日（中）・平和集会（高）

中学校では平和学習発表会として、各学年が1学期の総合的な学習の時間で学習したことを発表しました。それぞれの視点から平和について学び合い、被爆地・長崎で学ぶ意義を改めて考える機会となりました。また、クラス活動では、今年度の平和集会のテーマである「One for all ～君の行動で世界が平和に～」に基づき、平和につながるために大切な行動について考えました。平和集会実行委員が中心となって考えた8つの視点について、各班で具体的な行動を話し合い、「平和の木」を完成させました。生徒たちは、身近な生活の中で自分にできることを考え、「平和は一人一人の行動の積み重ねによって築かれる」という思いを新たにしました。



8月7日（金）、高校ではまず、全国高校放送コンテスト・ラジオドキュメント部門で準優勝した、本校放送部制作の「オルガンが呼び起こす記憶」を全校で聴きました。続いて、本校第3回卒業生の丸田和男氏を講師にお迎えし、ご自身の被爆体験や平和への思いについてご講話いただきました。さらに、平和探究チームが、フィールドワークや資料調査、被爆体験の継承活動などを通して得た探究の成果を発表しました。11時2分には全校で黙祷を捧げ、犠牲となられた方々を悼みました。その後、各教室で生徒会の生徒主体の平和への思いを込めた標語づくりに取り組みました。平和について「知る」だけでなく、「考え、伝える」ことの大切さを学ぶ一日となりました。



ミライの平和活動展 in 長崎

8月11日（火）～17日（月）に長崎原爆資料館で開催された東京大学大学院主催の「ミライの平和活動展 in 長崎」において、本校生徒が探究成果を発表し、成果物の展示が行われました。一つは、広島市立基町高校との協働による「原爆の絵」デジタルマップ。基町高校の生徒が被爆者との対話を重ねて描いた「原爆の絵」を、本校生徒がデジタルマップ「Re:Earth」上に配置し、広島と長崎をつないで被爆の記憶を未来へ継承することに挑戦しています。もう一つは、「AIカラー化でよみがえる戦前・戦後の長崎」。被爆者との対話をもとに、戦前・戦後の長崎のモノクロ写真をAIでカラー化し、「真実の色」に近づけることを目指してきました。生徒たちは自ら来場者の前に立って探究成果を発表。展示会場では子どもから大人まで多くの方々に、自分たちの言葉で写真や「原爆の絵」に込められた記憶を伝えました。生徒たちの姿から、被爆の記憶を受け継ぎ、次の時代へつないでいこうとする若い世代の力を感しました。この姿こそ、未来の平和を創る「希望の光」なのだと思います。



大会等の結果

(中学)

- ◆令和8年度九州ライフル射撃選手権大会
 - BR60発競技 2位 3年1組 相川京大朗
 - BP60発競技 3位 3年2組 松本遥太
- ◆令和8年度国民スポーツ大会 第46回九州ブロック大会
 - BP60発競技 2位 3年2組 松本遥太
- ◆2026年度 第12回九州小中学生ライフル射撃競技大会
 - BR少年男子立射60発競技 2位 3年2組 福島春司
 - BR少年女子立射60発競技 3位 3年3組 岩永優希
 - BP少年男子立射60発競技 1位 3年2組 松本遥太
 - 5位 3年3組 中野真樹
 - AP少年男子立射60発競技 1位 3年2組 松本遥太
 - BP少年女子立射60発競技 1位 3年2組 柴原心希
 - BP少年男子立射60発競技 2位 3年1組 中尾秋仁
- ◆長崎県中学校総合体育大会
 - 中学テニス 男子団体 3位
 - 女子団体 3位
 - 女子ダブルス 3位
 - 3年2組 副島彰加 3年3組 入来恋遙
 - 中学柔道 個人 2位 2年3組 倉橋六也
- ◆第43回NHK杯全国中学校放送コンテスト長崎県大会
 - アナウンス部門 優秀賞（全国大会出場）
 - 3年3組 本田柚莉
 - 朗読部門 優良賞 3年2組 野中結生
 - 優良賞 3年3組 松田若奈

(高校)

- ◆令和8年度国民スポーツ大会
 - 第46回九州ブロック大会
 - AR少年女子 2位 1年6組 中田結菜
- ◆令和8年度九州ライフル射撃選手権大会
 - BR少年男子 1位 3年5組 開雄一
- ◆2026年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
 - AR少年女子個人 6位 1年6組 中田結菜
 - AR少年男子団体 8位
 - 3年4組 中村征士郎 3年5組 山内零輝
 - 3年2組 熊本優生
- ◆令和8年度全九州高等学校体育大会
 - 第74回九州高等学校水泳（競泳）競技大会
 - 男子50m背泳ぎ 第4位 3年7組 井上泰我
- ◆第15回長崎県高等学校新人体育大会
 - テニス競技長崎地区大会
 - 男子ダブルス ベスト8
 - 2年6組 元山聡介 1年7組 田代直太郎
 - ベスト16
 - 2年3組 平康生 1年6組 生駒龍正
 - 女子ダブルス 優勝
 - 2年6組 児島加純 1年6組 竹内乙華
 - ベスト8
 - 2年2組 佐々野紗那 1年3組 塚脇七実
 - ベスト16
 - 2年6組 森千愛 1年4組 今村実咲季
- ◆2026年度長崎県国スポ少年男女選考会テニス競技
 - 女子シングルス 3位（国スポ代表補欠決定）
 - 2年6組 児島加純

- ◆令和8年度全国高等学校総合体育大会テニス競技
 - 第83回全国高等学校対抗テニス大会
 - 女子団体 ベスト16
- ◆令和8年度第35回KTN杯長崎県総合バドミントン選手権大会（高校の部）
 - 女子シングルス ベスト16 2年3組 濱辻朋佳
- ◆令和8年度長崎地区高等学校新人卓球大会
 - 女子ダブルス ベスト8
 - 2年2組 久野百合愛 1年2組 松島未奈
- ◆第76回“社会を明るくする運動”長崎地区
 - 中学・高校生弁論大会
 - 高校生の部 第1位 長崎地区推進委員会委員長賞
 - 1年2組 中尾柚月
- ◆第76回“社会を明るくする運動”中学・高校生
 - 長崎県弁論大会
 - 高校生の部 優秀賞 1年2組 中尾柚月
- ◆第71回長崎県吹奏楽コンクール
 - 高等学校の部 金賞 県代表
- ◆第71回九州吹奏楽コンクール
 - 高等学校の部 銀賞
- ◆第73回NHK杯高校放送コンテスト（全国大会）
 - ラジオドキュメント部門 準優勝
- ◆第64回長崎県高等学校音楽コンクール
 - 弦楽器部門 金賞および県代表 1年7組 篠原愛奈
 - 金管楽器部門 銀賞 3年2組 松本瑛吾
 - 銅賞 3年1組 桑田汐璃
 - 木管楽器部門 金賞 3年4組 森田響友
 - 金賞 2年7組 秀島嶋
 - ピアノA部門 銀賞 1年6組 柿田龍之介
 - ピアノB部門 奨励賞 2年3組 梶村瑞
- ◆第30回PIARA国際ピアノコンクール ファイナル
 - デュオD部門 アポロ賞 2年4組 時津凜花



第71回長崎県吹奏楽コンクールで
金賞（県代表）となった吹奏楽部

主 な 行 事 9月

校長より

日 曜	主な行事
1 火	放課後講座再開 (高3 ～11日) FW期間 (～11/20)
2 水	大学入試共通テスト出願説明会 (高3)
3 木	九州大学工学部出前講義 北九州市立大学法学部出前講義 (中高希望者)
4 金	第2回学校説明会 (東公民館)
7 月	第2回学校説明会 (北公民館)
9 水	ひがしチャレンジデー (中) 長崎大学高大連携事業 (高2) 性教育講話 (高3)
11 金	学年PTA (中3)
12 土	第2回学力推移調査 (中) ベネッセ・駿台マーク模試 (高3 ～13日)
14 月	考查時間割発表 (中高) 第2回学校説明会 (勤労福祉会館)
15 火	学校生活に関する調査
17 木	国際科志望者集会 (高1 希望者) 大学入学共通テストWeb出願 (高3)
18 金	長崎東安全の日 中学校入試説明会
24 木	2学期中間考查 (中 ～25日) (高1 2 ～29日) 学年末考查 (高3 ～29日)
30 水	面談週間 (高3 ～10/6) 放課後自学・講座再開 (高3 ～11/20)

夏の挑戦、その先にあるもの

校長 田川 耕太郎

暑さ厳しい夏休みでしたが、長崎東の生徒たちは、それぞれの舞台で果敢に挑戦し、大きく成長した姿を見せてくれました。

まずは全国大会での活躍です。本号一面で紹介しているとおり、放送部がNHK全国高校放送コンテスト・ラジオドキュメント部門で見事全国準優勝に輝きました。足踏みオルガンの音を再現しながら、81年前の長崎に響いたB29の襲来を臨場感豊かに描いた作品は、平和の尊さを五感に訴える素晴らしいものでした。

また、インターハイに出場した剣道部は、全国の強豪を相手に最後まで一歩も引かない堂々たる戦いを見せてくれました。試合後に泣き崩れて流した涙は、仲間とともに努力を重ね、限界まで自らを鍛え抜いた者だけが流すことのできる悔し涙だったように思います。

女子テニス部も全国ベスト16という見事な成績を収めました。酷暑の中での長時間にわたる激戦、強豪校相手への勝利。その姿からは、技術や体力だけでなく、最後まで諦めない心の強さと仲間との深い絆が伝わってきました。それぞれ手に汗握る感動のドラマがありました。

この夏、生徒たちの活躍は部活動だけではありません。中満泉国連事務次長との対話会や、高校生リーダー育成ワークショップなどに自ら手を挙げて参加した生徒も数多くいました。社会課題をテーマに大学生や大人たちと議論し、異なる意見に耳を傾けながら解決策を探る経験は、これからの時代を生きる上で大きな財産になるはずです。

現代社会には簡単に答えの出ない課題が数多くあります。だからこそ、知性と教養を磨き、自分の頭で考える力を身に付けること、そして多様な考えに触れ、対話を重ねることが大切です。そのような学びの機会を自ら求め、一歩を踏み出す東の生徒たちを頼もしく感じました。

2学期は文化祭や新人戦など、新たな挑戦の場が続きます。校訓のない東だからこそ、「自分たちの学校は自分たちで創る」という主体性と自治の精神が大切です。一人一人が考え、行動し、仲間と協力しながら東らしい校風をさらに磨いていってほしいと思います。

挑戦の先に、違う景色がある。東から、新しい風を起こそう。